



鹿嶋市報

おおねにめ

昭和53年 3月号 No. 302

編集と発行 鹿嶋市農林部大根占町役場
総務課文書広報係
電話 (09942) 2-0511~0515
印刷 新生社印刷 (09944) 3-2238

町の人口 昭和53年2月1日現在推計人口
男 4,545人 女 5,237人 計 9,782人
1月1日より5人増



経営合理化推進など 畜産振興計画を採択！

第三回町畜産振興大会

畜産振興の長期的展望への肉づけとして、家畜の増頭、自給飼料の生産確立、家畜の資質改良などの基本再確認と生産者の経営合理化による安定向上をはかろうと第三回大根占町畜産振興大会がさる一月二十五日に町農林部勤労福祉センターで盛大に開かれまし

この大会は、町と各農家の農協の共催で畜産農家や関係者約三百人が参加して、畜産の目標達成をはかるためのスローガンが掲げられ、経営の合理化推進など畜産振興計画が採択されました。

- ◎土作りを兼ねて一頭二頭飼の養育の育成を図ろう。
- ◎適正配合で資質の改善を図ろう。
- ◎肉牛一日一kg増体に努めよう。
- ◎子牛は生後八ヶ月以上体重牝二百五十kg、去勢二百八十kg以上でセリ市に出そう。
- ◎生産豚五頭六頭の農家を育成しよう。
- ◎豚の一貫体制を確立しよう。
- ◎ブリーダー飼料要求率の低下に努めよう。

このあと、体験発表が行な

九部門で四十八人 十五グループを表彰

われ、ブリーダーの部を代表して馬込澄夫さんが、肉用牛生産の部では才原グループの新原広夫さんが、肉用牛肥育の部では中迫博之さんがそれぞれ体験を生かしておもしろ、おかしき発表、その反面、今日の難かしい経営のあり方や問題を提起。

ついで、経営共励会入賞者など九部門で四十八人、十五グループが表彰されました。

また、午後からは講師に全国和牛登録協会県支部長の奥後彦先生を迎え、「今後の畜産経営の方向」について有意義な講演が行なわれ、盛会のうちに閉じました。

なお、当日の経営共励会入

賞者及び表彰者は次のとおりでした。

- ▽経営共励会の部
 - ◎子牛の部
 - 菅浦春己(神川城) 福永四男(神川城) 今熊俊郎(神川城) 小園又雄(神川上) 有村利秋(神川上)
 - ◎子牛セリ市最高売上者(五十二年一月〜十二月)
 - (めす)
 - 園田功(神川中原) 鮫島光夫(才原) 笑喜好之(笑喜)
 - 下玉利達志(大尾) 小川稔(神川中) 菅浦春己(神川城) 秋元春吉・秋元義哉(神川中原) 宿利原弘(宿利原) 湯ノ口貞夫(神川中原) 神川年彦(皆倉)
 - (去勢)
 - 家永善二(牧原) 菅崎英造(菅崎) 白井光二(白井) 森満茂(笑喜) 園田重夫(神川)
 - ◎乾草品評会の部
 - 下玉利重則(大尾) 上玉利昭(落河) 前迫重昭(川南) 牧原幸夫(牧原) 牧原実(協和)
 - ▽前蹄共励会の部(チーム)
 - ◎優秀賞
 - 落河グループ、川南グループ、牧原グループA、上ノ宇都肥育グループB
 - ◎優等賞
 - 鳥浜グループ、川北グループ、川南グループ、牧原グループ、城グループ、丸尾グループ、宿利原グループ、命苦グループ、上ノ宇都肥育グループA
 - ◎努力賞
 - 段中野グループ、才原グループ
 - ▽表彰の部
 - ◎県共進会出席者
 - 城下数夫(六反田)
 - ◎育種登録の部
 - 永山薫(落河) 水流豊武(皆倉) 岩崎明男(新町)
 - ◎ブリーダーの部
 - (年間販売実績五位まで)
 - 馬込澄夫(才原) 渡瀬幸徳(厚ヶ瀬) 馬込澄夫(才原) 笹原利光・松坂末義(松坂)
 - 大園国良(川北)



行事

18日 中学校卒業式
20日 クリニック
22日 午前中 母子相談
午後 一般相談
23日 たばこ耕作期成大会(大根占葉たばこ取扱所)
28日 小学校卒業式
28日 部落長会
6日 小中学校入学式
6日 春の全国交通安全週間
15日 53年度固定資産税第一期納付期限
30日まで

	世帯数	人口		
		総数	男	女
1月1日現在	3,090世帯	9,777人	4,541人	5,236人
自然増減(出生・死亡)	0	0	△3	3
社会増減(転入・転出)	1	5	7	△2
増減総数	1	5	4	1
2月1日現在	3,091	9,782	4,545	5,237

※昭和50年10月1日の国勢調査を基準とする。

記念碑の除幕式や踊りを披露 校区民総出で式典を祝う

池田小学校百周年記念式典

池田小学校百周年記念式典がさる二月十日、池田校区をあげて盛大に行なわれました。午前十一時に、記念碑の除幕式が学校児童、父母、学校



そのあ

と、全児童が色とりどりの風船をすみきった青空には、なち、式典をあげました。



午後からは体育館において、町長をはじめ議会議員、教育長などの祝辞が述べられたあと

池田校区に伝わる郷土芸能や青年団による棒踊り、婦人会の木やり、各部落の思考をこらした催し物などが披露され、にぎやかなうちに幕を閉じました。

農業振興地域の整備に 関する法律に基づく 整備計画変更の公告

本町の農業振興地域の整備計画は農業振興地域の整備に関する法律に基づいて、昭和四十八年に認可を受けて、今日に至っております。

受け、整備計画の変更を実施いたしましたので、農業振興地域の整備に関する法律（昭和四十四年、法律第五十八号第二項）の規定により公告いたします。

○縦覧期間
昭和五十三年二月二十四日から三月二十七日まで
○異議申立期間
昭和五十三年三月二十八日から四月十一日まで
○縦覧場所
役場経済課

春の全国交通安全週間

4月6日から15日まで

交通事故は例年季節的に春めいてくる三月から増加の傾向がでてきます。ことしも四月六日から十五日までの十日間「春の全国交通安全運動」が行なわれます。ことしの重点目標は、①歩行者及び自転車利用者、特に子供と交通事故防止、②夜間における交通事故の防止、③シートベルト、ヘルメット着用の推進などがあげられています。



交通安全を願って（城ヶ崎で）

止の具体的な方法を教えよう。なお、子どもに対する交通安全教育は常日ごろ機会あることに教えることが大切です。ドライバーのみならず、子どもも歩行者として道路を歩くときは不意な動きなどによってスピードをコントロールし、子どもの横を通り抜けるときや子どもが乗っている自転車の側方を通過するときは安全な間隔をとり除行しましょう。

この運動を通して交通安全思想の普及を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけ交通事故防止につとめましょう。

心のよりどころを 見つけました

前田 ハナ

積極的に参加しました。

同じく、郡の未亡人会の行事にたまたましては、

(一)母と子の交歓研修会

これは本町の松崎キャンプ場で南陽四ヶ町の未亡人母子約百人が集い、午前中に講演や体験発表など、午後からは母と子、おばあさんと孫、老人ホームの方々とまじえて、色々なゲームで愉快な一日をすごしました。

(二)母子婦の福祉大会

昨年は高山町でひらかれ、スポーツ部門では準優勝をするなど、大活躍でした。

未亡人会に入ってから、一年間このような勉強をさせていた

だいて、始めて心のよりどころと申せましょうか、経済面精神面にも明るくひらけてゆくような気がします。

それから、介護人制度という制度を知りたてた。これは乳幼児をかかえた母親が一時的な病気、または父

家庭の父親が短期間入院されたとき、日常生活に支障を生じた場合、介護人（家庭内の世話をする人）を派遣して、無料で必要な介護及び乳幼児の世話をする制度です。

このような制度や研修をお

たがい勉強し利用しあつて、苦しい時も楽しい時もおたがいの手をとりあつて、このめまぐるしい世の中と戦って行

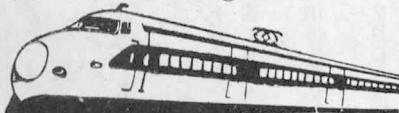
きましよう。

入会の一報をお待ちしてお

ります。

大隅高須駅に 電話が着きました

特急券、寝台券も取り扱っております。
TEL 09944 ⑦ 2426



転居される時は、郵便局が役場の窓口へ備え付けてある転居届用紙に記入され、その一部を郵便局へも提出下さい。または、普通のはがきに、旧住所、新住所、御家族の名

転居届は郵便局へも

提出された転居届により、旧住所と新住所のそれぞれの配達を受け持つ郵便局において、配達用リストが修正されその届出の日から一年間、旧住所あての郵便物を新住所へ転送いたします。なお、転送郵便物を受け取

られた場合は、その郵便物の物を受け取られた場合は、その郵便物の差出人に、すぐ転居先を知らせておくことが郵便物を早く受け取るためにも大切なことです。（郵便局）

かくれた古石塔郡を発掘復元

法恩寺跡・山ノ口遺跡

本町には多くの文化財があります。このうち、植物を中心とした天然記念物の調査結果については、本誌（五十二年九月号）でお知らせしたとおりですが、今回古石塔群の調査及び復元作業を行いました。

法恩寺跡・山ノ口遺跡を調査

町教育委員会ではさる二月十七日文化財保護審議委員会（竹下茂嘉委員長）や地主（原田速雄・中村直幸氏）の協力を得て法恩寺跡にある古石塔群の復元作業を行いました。昨年の最終調査委員であった南九州古石塔研究会長の黒田清光先生の指導のもとに、総勢二十人で発掘から復元までを終日かけて行った結果、庫裡の基礎石の確認、古石塔の掘り起こしから組み立て復元が一部終了しました。今回の収穫としては、三枚

の板碑の復元完了、五輪塔十五塔（大ニ、小十三）の組み立て宝きょう印塔の相輪二基の発見と一塔の組み立て完了、参道の石段部分の清掃などがあげられます。



報恩寺は真言宗の流れをくむ寺で鎌倉中期に創建され、明治初期の廃仏忌釈で破壊されたもののですが、八十mの小高い山の山にあったため原形をとどめている点では、県下でも珍しいものといわれています。

また一月二十八日、山ノ口古石塔群の調査が行われました。

このたび、県教育委員会、県PTA連合会より「かごしまの父親に関する12章」が編集されました。この冊子では子どもの発達段階を考慮し、

かごしまの父親に関する12章

家庭における父親の役割や姿勢に関して、子どもに語りかけたこと、親自身が生活を反省する手がかりにしたいことなどを十二章にまとめてあ

なお、購入希望の方は、町教育委員会またはPTA（各学校）に申し込んでください。料金は二〇〇円です。

た。その結果この地（山ノ口墓地公園西上方百米の山の斜面部分）は寝占家の陣地として長期にわたって続いていたことがほとんどと解明されました。

古石としては、板碑二枚、五輪塔の地輪十六、水輪六、火輪五、空風輪十二が発見され、又、期待された宝きょう印塔の相輪も見つかり、なるべく早い機会に本格的な発掘復元作業の必要性が強調されました。その他、平野宝塔、河上神社宝塔、遊喜浦大型板碑、鳥浜寺屋敷石塔の調査も同時に行い、とくに遊喜浦板碑はこれまでの定説と違い平安末期から鎌倉初期のものとのことで、貴重な文化財であるとの結果が出ました。

私と赤ちゃん ①

加奈恵ちゃん（満一才）

私は西田トミ子。主人は辰美。旭町で表具店を主人のお父さんと営んでいます。

加奈恵は長女で生まれたときは三千グラムで普通平均より少し大きいみでした。主人は女の子の方がいいという



うことで願ったりかなったりで、たいそう御満腹。病気はめったにかかりません。風邪ぐらいかしら。もっぱら、いたずらばかりです。

名前の由来？ 由来は主人のお父さんがつけてくださいました。将来この子にたくす夢？ そうですね。まあ、元気にすなおな子どもに育ってほしいですね。

教育振興に尽力され表彰

麓の坂元百子さん

肝属教育振興大会がさる、二月二十日鹿屋市において開催され、永年にわたって社会教育振興にご尽力された方々の表彰がおこなわれました。

のリーダーとして、健全な運営と活動にためめ努力をされ、町栄養改善にも寸暇を惜しまず、推進活動が評価されました。また、本町で開設している社会教育学校の講師や町公民館講座の指導者、その他の社会教育分野の有志指導者として活躍されるなど、その指導力と功績が高く評価されて表彰されたものです。



今後ますますのご活躍を期待いたします。

笑喜選手（本町出身）の功績ひかる

——県下一周駅伝大会——



県下一周駅伝大会は、さる二月十一日から十五日までの五日間にわたり行われました。

肝付地区チームは、第一目間優勝をおさめ二位鹿兒島に七分四十九秒の

差をつけて総合優勝を飾りました。この大会の第二日目に本町笑喜部落出身の笑喜博則君が出場、第四区伊集院から東市来までの十・九kmを快走し区間新をとりました。また第四日目は十区で区間二位、五日目は五区で区間三位という高記録を残しました。笑喜君は宿利原中学校時代は、県下中学校駅伝大会で十人もゴボウ抜きにした実力者で、五十二年鹿屋農高を卒業後、海上自衛隊鹿屋基地に入隊しています。昨年の六月からの強化練習では毎日二〇kmから三〇kmを走り、大会ではもてる力をいかんなく発揮し、優勝へ大きく貢献しました。また二月二十六日に行なわれた町子ども会リーダー研修に特別参加いただき、子ども達の奮起をさそいました。笑喜選手の今後の活躍を期待します。

今大会に本町からの審判役員としてご尽力いただいた関係皆さんに厚くお礼申し上げます。

総合三位に入賞

来年度に期待！

郡青年駅伝大会



- 区間一位 秋則
- 区間二位 木下
- 二区 馬込 正範
- 三区 渡瀬 幸則
- 六区 福岡 正次
- 八区 城下 鉄郎

二月五日、田代町役場前をスタート、東串良町役場前まで十一区間、五十二kmのコースで行われました。前半悪いながらも、各選手の気力により追いあげ、三位に入賞しました。これもひとえに町民の皆様熱のある応援のたまものと思います。選手一同三位に入賞しながら来年度への飛躍に燃え、さらに練習を積み重ねることと思います。

一区間記録は次のとおりです。

お知らせ



一年分納入すると

割引されます

(国民年金保険料)

国民年金保険料を一年分一括納入すると約二、四パーセント割引されます。五十三年度分につきましては、左記の要領で納入ください。

定額分については、昭和五十三年四月から昭和五十四年三月までの保険料額

三万二千七百六拾円を
三万一千九百七拾円を
三万一千九百七拾円を
付加保険料と同時に納入の場合は

三万七千五百六拾円を
三万六千六百五拾円を納入することになります。

●納入期限は昭和五十三年四月三十一日までです。

3月31日で時効!

第二回特別弔慰金

第2回特別弔慰金(額面20万円)の請求期間は3月31日です。これをすぎると時効となり請求してもらえません。未請求の方、又は請求したが連絡がない方は再度請求をしてください。

移動交通事故相談所が 毎月第一水曜日に開かれます

「関東大根占町人会」
が結成されます。

東京八重洲口中央街の「さつま荘」において、さる二月十六日、在京大根占町人会の発起人会が開かれました。

出席者は岩松親典、寺田武彦、伊集院久乗、長浜邁、梅井義充、山元昭夫、松下祐、荏原輝志、長浜清光氏等、九人が発起人で、この会の名称を「関東大根占町人会」とし事務局を横浜市緑区もみの木台十七十九、長浜清光方(電話〇四五一九〇一三〇一三)に置きました。

現在、名簿作成の準備中でありますので、関東地区(東京・埼玉・神奈川・千葉)にお住いの御家族、御親族、御友人等いらっしゃいましたら御一報おねがいいたします。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

善意の話題

▼町社協へ

社会福祉事業費にと次の方々から、香典返しにかえ寄附がありました。厚くお礼申し上げます。()は故人

神川 清海(チカ) 鳥浜
奥野 忠義(スギ) 神川新町
白川 昇(友次郎) 鳥二区
小平 虎男(ミエ) 半下石
上鶴 与助(ヨトゲサ) 神川上
宿利原正夫(良平) 宿利原
入佐 節(喜助) 中園
長浜 洸治(辰夫) 塩屋
森満 清彦(サム) 神川上
坂元 武夫(ツヨノ) 山ノ口

▼錦江園へ

弓場下の黒木シズエさんから みかん
麓の大山幸一さんから みかん
東京都の鮫島勝子さんから 金一封
根占町の婦人会から 金一封
旭町の丸田寿人さんから 金一封
本町の長浜正一郎さんから みかん

▼すずしろの里へ

旭町の丸田寿人さんから 金一封
東郷町の田代フヂさんから かつお節
東郷町の平川フヨさんから 金一封
本町の長浜正秀さんから みかん
神一区の本金勝己さんから みかん
東京都中野区の鮫島勝子さんから 金一封
佐多町の宮里晃子さんから 菓子と蒲鉾
鹿屋市の平嶺薫さんから みかん
内之浦町の堀切重光さんから みかん

広報紙の謝礼

○滋賀県栗太郡に在住の 井上秀信さんから
○東京都中野区に在住の 鮫島勝子さんから
○大阪府高槻市に在住の 鶴崎 愼さんから